

まなざしで、 越谷を安心とやさしさに彩られるまちに

～副市長、市立図書館長、市職員 33 年間の経験と実績～

はじめまして。

私はこれまで33年間、市職員として、
市民のみなさんの声に耳を傾けながら歩んできました。
子育て支援や生涯学習、市民サービスの充実に取り組み、
図書館長の時には「学びと交流の場」として、誰もが自由に学び、
つながれる環境を育んできました。
その後、副市長として市政全般に携わり、仕組みを整え、
施策を実行に移す役割も担ってきました。
これらの経験は、私にとって大切な宝物であり、
越谷の未来を考える力になっています。



市民の声をまちづくりの力に

市職員を離れた後も、市民活動や地域活動に積極的に関わり、越谷にある豊かな「市民力」を肌で感じてきました。一人ひとりの声を市政に届け、市民参加型のまちを実現することが、私の大きな目標です。私は、越谷市ではこれまで「政党の対立」が市政の停滞を招いてきたのではないかと感じています。

だからこそ、私の座右の銘である「和をもって尊しとする」を胸に、政党の枠を超えた対話と協力を重ね、越谷の未来を前に進めていきたいのです。

市民とともに、職員とともに

市長に就任した際には、「市民とともに、そして職員とともに歩む市政」を進めます。職員は市民の暮らしを支える大切なパートナーです。職員が誇りとやりがいをもって働ける環境を整え、その力を発揮できるようにすることで、市民サービスの質も高まります。

市民の力、職員の力、そして女性の感性を加え、「生活者としての実感」「きめ細やかな配慮」「多様な立場への共感」「協働する力」

これらを生かして、安心して暮らしやすく、誰もが誇りをもって住める越谷を築いていきたいと思います。

